（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）　【日刊】　昭和九年七月五日　新いわき　【木曜日】　第一千二百二十號　（一）

七月四日　夕刊

休日　日曜祭日
一ヶ月　二十五錢
郵税十五錢　一部二錢
廣告料　一行　四十錢
場所指定　貳拾錢增
發行兼編輯印刷人　牛谷政寿
發行所　福島縣平町大町二三　新いわき新聞社

双葉郡熊町に遺る
熊野宮様と長者原
南朝の落人らしい口碑傳説に
益深められる史家の調査

双葉郡熊町村の大字長者原は同郡新山町に境する地で古往附近に長者の住めるより呼ばれたものと傳へられて同地には今に遺る口碑傳説も少くないのであるが長者の何人であるかを詳細でなかつた最近に至り新山町海老澤稲荷神社に近い杉山今朝吉氏が同家に傳はる寶刀を研師にかけて現代に得難き名刀であるを發見し東都本綱師の鑑定を求めたことから端なくも同地に對する考察を深められて長者その人は南朝の落人で或は尊貴の方で在らせられるのでないかと目下史家の間に調査を進められ去月下旬初めには愛知縣の前代藩士田中善立、双葉郡刈野村出身山田忠正氏外數氏來郡双中教諭等と現地を踏査し熊町村と新山町を境する高燥に残る屋敷跡並に屋敷前（現在の小字名）その他を詳細に調査する所あつたが右長者原に遺る傳説の一端を記せば

長者は同地一帯を耕耘する大地主で毎年の田植は一日に終るを慣例としてゐたが或る年の當日（七つ時）何所からともなく子を逆さに背負へる大猿現はれ田圃の間を駈け廻り農夫が之れに眼を奪はれて一日に終るべき田植の慣例が破れんとするとき長者黄金の下駄を穿ちと長者黄金の扇をかざして西山に落つる日を呼び戻した

同地に今祀られる熊野神社は長者の氏神で告夢により紀州より分靈したるもの地人熊宮様と呼んでゐるが神水の井戸を菊水と呼ぶ

氏神の守は藤原（標葉の誤傳か）五郎四郎某であつたが長者都に越して後荒廢し地人この祭祀を續く（五郎四郎は今地名に残る）

其の他字名の熊澤、屋敷跡屋敷前、隠居坂、松の前等に口碑多く附近に残る塚趾には寶塚六個（内一個は瓢箪塚）熊澤は熊町村と新山町の兩村に亘つてゐる

以上の如くであつて長者の同地に住めるは恰度吉野朝の時代（今から五百年前）後醍醐天皇は政權を朝廷に收められたが建武の新政天下の人心を滿足させる力なく之れに乘じて足利尊氏叛を圖り天皇吉野に遷幸し給はれた以後六十年に近い大亂を起して足利義滿の時後龜山天皇京都へ遷幸せられて天下漸く統一されたと國史の説く所である、其の四義貞勅命を畏み皇太子を奉じ一族同志を引連れて北國へ下り近江から越前へ山を越えて奥州に下つたとある當時足利の勢を避けて南朝の忠臣北畠顯家等と共に吉野朝を奉ぜる標葉家の領に身を入れられたのが長者であつて紀州熊野神社を祀奉された熊野宮信雅王殿下（吉野朝第九世）に在らせられる若しや其の方ではないかと史家の慎重な調査を益々深められてゐるが殿下を援くる叔父宮尊敬親王は後小松天皇の後に信雅王を御即位されるべきであると足利と戰ひ遂に戰死されたとも傳へられてゐる其の後顯家戰死し標葉家また相馬氏に亡ぼされたので長者は臣家を裝ひ性を熊澤と名乘り愛知縣丹波郡の天台宗万壽院に移り今同寺院にある熊澤信太郎至展氏が其の末孫であると云はれてゐるもので史蹟をたどる熊町村及び新山町では今非常な感激を以て學者の調査を歡迎してゐる

噂される人絹會社
肥料會社が眞實か
今日一行重ねて五名の再調査
平町は何れでも歡迎し樣

平町の南裏一帯に十五萬坪の敷地を擁し大資本を投ずる某人絹會社設立の計畫あるため去る六月井上某氏が來平し水質及び敷地關係の下調査を行ひることが社名及び事業關係等も詳細でなかつたが前記井上氏が人絹には水質が最も重要性を帶ぶる爲め分析の結果に於て有望なれば土木建築の衝に當る人々と共に再び來平したいと水道及び愛谷堰の水を携へ同町を去られて十數日を經たる昨三日同氏の言の如く何れも事業家らしい五名の一行が來平住吉屋本店に宿泊の今四日午前町役場に青沼町長を訪ねて二台の自動車に分乘再び附近の調査をなす所あつたが聞く所によれば右は人絹會社ではなく肥料會社の計畫らしくも語られて居り工場敷地を一坪三圓の土地は高過ぎるなど稱されてゐた由である因に來平の同一行は左記の諸氏である

東京市麻布區笄町肥料會社重役高橋保　西宮市川東町肥料會社重役池田亮次　東京澁谷區青葉町肥料會社技師鍵和田良平　鶴見區鶴見町同社技師井上亮平　東京市品川區大井阪下町同社技師吉田勇三（以上）

災害復舊の
橋梁架換
草野と上遠野と
入遠野村の三橋

平土木監督所管内に於ける左記災害復舊工事（橋梁架換）に對し去る二日競爭入札を行つたが平町堀江工業外二氏に落札した竣工期間は仲田橋九月十二日まで他の二橋は九月二日までの由

石城郡草野村の泉崎地内國道仲田橋千百六十圓　請負者同村福田勘次

同郡上遠野村の上遠野字瀧地内縣道上瀧橋八百十圓　請負者平町堀江工業

同郡入遠野村の入遠野地内縣道官澤橋八百十圓　請負者湯本町渡邊長作

常識講座

リキュールは混成酒のこと香氣と色薬を加へた我が國で云ふ五色の酒、婦人向の酒と云ふが眞面目な女には愛飲されない色彩の美と刺戟の淫蕩的な點が特色で興奮させる丈のもの

仁井田博士の勅選に
緣故深い平町の喜び
平小學と櫻關塾に學んだ舊友
伯父の榮ヨを喜ぶ關内家

昨三日の閣議に於て勅選補充の新議員に本縣出身の法學博士仁井田益太助氏が加はるゝことは既に各紙の報ずる所であるが氏は平町にも誇りとされる深い緣故をもつてゐる仁井田博士は田村郡守山町金澤の産で亡父穩重氏が菊多、磐前、磐城郡役所を平町に置かれた初代郡長清宮義衛（明治十二年二月）氏から明治二十三年に及ぶ味爾禮賀、三宅新廻武彦、岩下敬藏、和田勇、白井遠平、三淵隆衛の七郡長に歷任せる上席郡書記であつた頃父と共に平町に在りて今は其跡を止めないが驛前平小學校に學べる現青沼平町長等と竹馬の友で當時平窪村にあつた室櫻關熟には山崎與三郎氏等と机を並べた親みがある

十五才の時單身上京、獨逸語を學び帝大法科に入りて明治二十六年卒業、京都大學の助教授から獨英に留學して在外三ヶ年、民事訴訟法を專攻して歸朝後京大、東大の教授を奉じ名譽教授となつて辯護士を開業

現在に及ぶもので母は平町二丁目清水屋（消光堂書店）より出で博士の實妹は同町清水屋油店關内正一氏夫人の母である伯父の吉報に同家は勿論同氏の竹馬の友は何れも我が事の樣に喜んでゐる

去六月中に於ける
平驛の旅客收入
五月より五二四二圓六八錢減
前年より一二七八三圓余增

平驛では昨六月の旅客收入は五月に比して客數の減少甚だしいので大減收を免かれまいと見られてゐたが當月の總決算は乘車二萬七千三百八十一人この收入一万九千四百二十三圓五十七錢で五月收入の乘車三萬二千八百八十人（六月は五四九九人減）收入二萬四千六百六十六圓二十五錢より五千二百四十二圓六十八錢を減收せるも昨年六月の成績に比較すれば乘車人員に於て三千十五人、收入で二千七百八十三圓七十三錢を增收してゐるので驛當局を慰められてゐる尚ほ當月降車は定期回數券を加へて五萬七千百十七人であると

石城郡下小學の
少年劍道大會

石城郡下の小學校では平第一の少年劍道養成に倣ひ現在劍道部を創設せるもの十數校に達したので近く平町に少年劍道大會を催すべく關係有志間に準備協議中であると

佐藤氏の頌德碑

石城郡神谷村では前村長佐藤久三郎氏が歷代の村長中卓越せる自治の功勞あるに對し除ねて同村小學校庭に同氏の頌德碑を建設工事中であつたが漸く竣功を告げたので來る七日午前十時同校に於て同村の各名譽職並びに學校職員その他地方有志を招ぎ盛大なる除幕式を行ふと

金庫を盜んで山
で破壞する

石城郡湯本町の湯本字三函呉服商大和田輝三方へ昨三日午前一時頃賊忍び入り店舗備付のレヂスター式小金庫を窃取され屋出でと同時に平署から刑事急行犯人捜査中であつたが同金庫は町内觀音山境内に於て破壞され在中の金一圓余を持去られて居り午後四時頃に至り町内を徘徊する少年の擧動不審なので檢擧取調べの結果同人は小名濱町の定西生れ佐藤庄治假名（一八）と稱し右犯人であることを自白したが餘罪あるらしいと

…川魚の習性と…
其漁法（五）
石田磐中教諭

（1）生活上より見たる魚類の分布

詳しいことは前にお話いたしましたから此處では簡單に特性に關係する一般的のことを述べます、河川湖沼の大小食餌の多少は總じて棲息魚類の大小魚族の厚薄に概ね比例するものでありまして之を局部的に觀察致しましても同一河川でありますと矢張り水深大で水量多く餌食の不足しない處には大きな魚類が棲み且つ魚族が澤山居るのでありまして、之れに反して水深が淺い所には小さい魚類が棲むと云ふのが普通であります、又水深ばかりでなく水流の强弱によつても魚族の分布狀態に差が生じます、此の場合同種魚族でありますと水流の弱い岸邊の樣な所には幼魚が集まるのであります、

（2）撰餌に就て

川魚の食餌は概して棲息する河川湖沼に繁殖する川虫か又は河川湖沼の水系兩岸の土中に棲む虫類か或は附近地上空中に棲息する虫類が主であります、約言しますと常に目擊しある何等疑義の存しないものを取るのであります、從つて各々河川湖沼に特有の食餌を取ると云ふ事が根本になりますから釣などは此の理に合する樣に研究を進めなければなりません、某河川湖沼で非常に能く釣れる食餌を以て直ちに他の河川湖沼に適用しても必ずしも常に有利であるとは申されないのであります

面白い例を申しますと「ハヤ」と云ふ川魚は飯粒では殆んど釣れないと申しましても宜しいのでありますが或る時奥山の温泉場で澤山の「ハヤ」を飯粒で釣つた事があります

消費經濟の合理化（十）

内務省社會局

その後各國で行つた調査の結果を見ましても、國によつて多少の差はありますが、大体に於て同じやうな成績を示して居ります、

扨、この調査によりまして吾々が特に教訓を受けますことは、(甲)前にも述べました通り、自由費用を多く得るがためには、所得額を多くするやうに勤勉でなければならぬ事と、(乙)必要費用を少なくすればそれだけ自由費用を多くすることが出來る、と云ふ事であります、此の(甲)については前に述べましたから茲には省略することに致しまして(乙)の點について一言致したいと思ひます、

必要費用と云ふのは、衣食住の如く、生活を維持するための餘儀ない費用でありますが、自由費用といふのは其れ以外の種々なる目的に、人々の好みに應じて自由に使用し得る費用であります、この内から、一部に貯金や保險のためにも支出せられ、また租稅其の他の公課も此の内から支出せられ、教育費等も此の内から負擔せられますが、なほ各種の文化的目的の費用も此の内から支辯せられるのであります、それ故に若し衣食住の如き生活必需費と、雖もその合理化によつて支出を少なくすることが出來ますればそれだけ自由費用に廻され得る部分が多くなるのでありまして、それだけ人の生活が高尚になり、幸福になり、また他日のための準備も能く爲され得るのであります、それ故に生活の合理化は此の方面から申しても必要であります、

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平町南町 電二五八番
入院 帶療

磐城名産特賣所
御土産物には郷
石城みやげ
七濱の生産品
地元産の果實
平みやげ
名菓各種
土の名産が第一
平町驛前

産科 婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 玄蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

パラソルと日傘
例年御定評を頂く當店特選の
優秀な新柄を豊富に取り揃へて
ソルヤ 電一四〇

醤油味噌 たひら正宗 鰹節食料品
お醤油は……ヤマフル
鹽屋 山崎合名會社
明治生命磐城代理店 山崎與三郎
電話一本 營業部 一七〇番

東神火災保險株式會社
東京動産火災保險株式會社
横濱生命保險株式會社
磐城代理店
河田鐵工場
河田梅吉
營業所 福島縣平町七丁目 電話三二九番
本社 東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部 仙臺市大町三丁目 二九五番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店 關内正一
平町二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

新設、電話二二二番
何卒御利用の程を……
平町紺屋町一一
上原家政婦會
(産婆) 上原通子

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一
内科 院長 醫學博士 石山謙郎 (電話六四一番)
小兒科 部長 岩手醫學士 平賀一忠
産婦人科 副院長 醫學博士 五十嵐雄二 (電話三七〇番)
外科耳鼻咽喉科 部長 醫學士 坂本眞一郎
皮膚泌尿器病科花柳病科 部長 醫學士 前澤正郎 (電話二七二番)
X光線療物科 醫學博士 石山謙郎
技術員 醫學士 高後利雄
衛生試驗所獸醫 藥劑師 吉本孝平
藥局 事務長 鈴木寶雄
(毎日午前八時より午後十時迄診療)
病室完備……入院隨意……

スペインC.H.N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒 1.10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舗 (電3)

貸手車
新規物を格安にお譲も致します
平町大町若松醫院隣
牛谷

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番)藤田女學校前
入院應需 鈴木醫院

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前 電六六九番
自炊の便あり